



南丹市立美山小学校

オフィシャルウェブサイト



〒601-0751 京都府南丹市美山町島 島台52番地 TEL: 0771-75-0017 FAX: 0771-75-0106 MAIL to: miyama-es@kyoto-be.ne.jp
 通級指導教室（ことばの教室） TEL:0771-75-1097

美山小学校WEBページ

トップページ

- ・学校紹介
- ・行事予定
- ・学校だより
- ・研究推進
- ・学校評価
- ・美山学
- ・美山学だより
- ・図書室だより
- ・R3年度美山っ子日記
- ・感染症対応マニュアル
- ・就学援助制度について
- ・いじめ防止基本方針
- ・気象警報等の対応
- ・全国学力・学習状況調査結果

since 2016.04.01

COUNTER 830895

リンク集

[南丹市教育委員会](#)
[南丹市役所](#)
[京都府教育委員会](#)
[京都府南丹教育局](#)
[文部科学省](#)

[南丹市立美山中学校](#)

南丹市立美山小学校

〒601-0751
 京都府南丹市美山町島 島台52番地
 TEL 0771-75-0017
 FAX 0771-75-0106
 MAIL miyama-es@kyoto-be.ne.jp



本ホームページの著作権は、南丹市立美山小学校に帰属します。

図書室から本のこと、読み聞かせのこと、言葉にかかわる話題などお伝えします!!

日誌

図書室からのお知らせ

◀前 1 2 3 4 5 6 7 次▶ カテゴリ選択▼ 10件▼

2022/05/31 読書感想文全国コンクール課題図書

| by 美山小

平屋の平川さんから 今年度の読書感想文全国コンクールの課題図書を寄贈していただきました。
 いつも ありがとうございます。



低学年用



中学年用



高学年用



中学生用

手に取りやすいように しばらくは教室に置きます。
 普段自分が読まないようなジャンルの本もありますが せっかくの機会なので ぜひ 読んでみてほしいと思います。

12:21 | 本のこと

2022/05/31 新しい本が届きました!

| by 美山小

今年度最初の新着本です。
 今回は 人気のシリーズの続編など みんなのリクエストを中心に選書しました。



高学年女子に人気の「いみちえん」は これ（19巻）で完結です。
「リリアーネ」「科学探偵」「都会トム」どれも何冊も続く人気シリーズ。



剣道女子を描いた「まっしょうめん」去年1.2巻を入れたら好評だったので。
「本好きの下剋上」はアニメで人気らしく 6年生の強い要望がありました。
コミックではなく 小説なので読みごたえはたっぷりです。



「ぼくらシリーズ」で人気の宗田さんの作品
「鹿の王」は去年 予算の都合で1巻しか購入できなかったの で これで完結。



いつの時代も大人気のドラえもん
低学年には「妖怪捕り物帳」



女の子は「すみっこ」が好きですね。
「名探偵」シリーズは3年生を中心に よく読まれています。



意外と多い猫好き派の人へ



魚好き男子の大ブッシュの「築地市場」大人が見ても楽しめます。
なぞなぞは クラスあそびで使うのか 学年関係なく よく借りられています。

以下の2冊は 寄贈本です。



毎月「子供の科学」を寄贈してくださっている 鶴ヶ岡の田中さんは「空想科学読本」も 入れてくださっています。



今 かやぶき美術館で 絵本の原画展を開催中の福井さとこさんは
低学年でも読める幼年童話の本を 寄贈してくださいました。

田中さん、福井さん ありがとうございます。



新しい本がはいるのは やっぱり ワクワクするようで 待ちきれない人は 何度もフライングで 図書室をのぞいていました (笑)

中間休みの貸出し開始には お目当ての本を急いで借りていく子どもたちで いっぱい。
出遅れてしまった人は 予約をして 返却されるのを待っています。

図書委員会でも 購入希望の本のアンケートをしています。
まずは 子どもたちの「読みたい」という気持ち大切に アンケートを参考にして
みんなが読みたくなるような本をそろえようと思っていますので お楽しみに!!

11:13 | 本のこと

■ 2022/05/30 ■ 「よむよむ」による朝の読み聞かせ

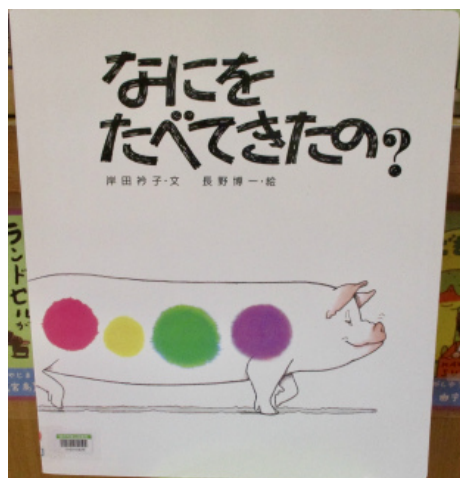
| by 美山小

1年生

「なにをたべてきたの？」

作) 岸田 衿子 佼成出版

ころんと太って、体は真っ白のしろぶたくん。
しろぶたくんが見つけたのは、美味しそうなきれいなりんご。
「いただきまーす」
ペロリと食べ終わったしろぶたくんのおなかには...きれいな赤い色！
今度はレモンをペロリ。まだまだお腹の空いているしろぶたくんは、更に大きなメロンもぶどうもペロリ。
するとおなかには、どんどんきれいな色が並んでいきます。
おや、今度見つけたのは...せっけん。しろぶたくん、それ食べちゃうの! ?



話しかけられているような優しい言葉にのって、お話はリズムカルにすすんでいきます。
ぱっと見ればシンプルな絵。でも、ページをめくっていくと、その鮮やかな色が大きく目に飛び込んできます。
何よりしろぶたくんの表情が可愛くて、くだものがとっても美味しそう！

大型絵本だったので みんなにしっかり見てもらうことができよかったです。
「あー、色がついた」「皮ごと食べるん?」「メロン食べたい」「きれいー」「わぁ しんごうや」などなど みんなの反応もとっても良くて 楽しく読めました。

2年生

紙芝居 「長ぐつをはいたねこ」



粉屋が死んで、三ばんめのむすこがもらった財産は、ねこ一ぴき。
長ぐつを作ってもらったねこは、とても知恵のあるねこでした。

世界の名作むかしばなしのひとつですけど、「長ぐつをはいた猫」というお話があることは知っていても 内容は大人でも意外と覚えていなかったりしますよね。

2年生に聞いてみると・・・どうやらお話自体を知らない様子でした。

3年生

「おおいなるだいちぞく」

作) はしもと えつよ 偕成社

王子とじいやを中心に、大豆たちが成長し、姿を変えておいしい食べものになるまでを、コメディタッチで描きます。
大豆だけがすごい豆なのだ、と信じきっていた王子は、豆界のマドンナ、あずきちゃんに会い、自分の底の浅さをしり、世界中の豆に出会う旅に出かけるのでした……。



楽しく笑いながら読めて、大豆についてもしっかりまなべる絵本です。
本文中には、大豆がどのようにすがたをかえて豆腐やみそ、しょうゆ、厚揚げなどになるかを詳しく説明したページがある
ほか、じいやの秘密の本には大豆の秘密がいっぱいつまっています！
絵がとってもかわいいので お勉強っぽくならず楽しめます。

みんなとっても静かに聞いてくれました。

4年生

「じめんのしたにはなにがある」

作) 中川 ひろたか アリス館

ミニカーを木の下に埋めようと思ったら、根っこがあって大変。地面の下は、根っこだらけなのかな？
土の中にも生き物がいる。そういえば、地下から水や温泉が出るのはなぜ？
どんどん地下深くに想像が広がっていきます。



アリやもぐら、冬眠する生きものが登場する前半の地面の下は みんなもよく知っている様子だったけど デパートの地下や地下鉄は 美山の子どもたちには あまりなじみのない場所だったのであんまりピンときていない感じでした。

5年生

「あしなが」

作) あきやま ただし 講談社

すらりとした美しい犬、あしながは、のら犬たちからきられていました。

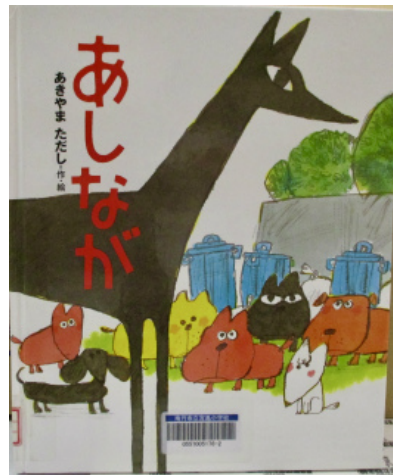
「でっかい家にすんで、すごいちそうたべてるんだって。」

「子犬や子ねこをたべちゃうんだって。」

かっこいいけど、さいていのやつ—。

のら犬のケン、みんなのうわさ話を信じて、あしながのことをそう決めつけていました。

ところがある日、あしながのほんとうの姿を知ったケン。そのとき、ケンの心の中で何かがかわりはじめたのです。



本当の姿を知ろうとせずに 無責任なうわさに乗せられてしまうことって だれにでもあることかもしれませんね。みんなが言ってるから それが正しいわけではない、ちゃんと 自分で確かめてから判断できる人になりたいと 大人になっても思います。

読み終わると 拍手をしてくれました。

何か みんなの心にも 感じるものがあったかな、そうだったらいいな、と 思いました。

6年生

「まほうのでんしレンジ」

作) たかおか まりこ ひかりのくに

「6年生ぐらいになると あんまり絵本って 読まないかな?」と 聞いてみると やっぱり「うん」とみんなうなずきました。

小説読んだり マンガみたり・・・って 教えてくれました。

絵本って ちいさいこどものためのものって思いがちだけど 大人が読んでも楽しくなる絵本もあるんだよ、私も この絵本読んですごいわくわくしたの・・・と 読み始めました。



ある日、家に不思議な電子レンジが届きます。
お皿を入れて食べたいものを歌うと、からっぽのはずのお皿にごちそうが登場！

めくるたびに おいしそうなおちそうが現れる とっても楽しい絵本です。
なんのために 魔法の電子レンジを手に入れて たくさんのおちそうを出したのか？
その答えが とっても素敵で あったかーい気持ちにもなれました。

意外と反応もあって 楽しそうに 終わると拍手もしてくれました。
「やった！ 大成功」と うれしくなりました。

10:09 | 読み聞かせ

■ 2022/05/17 ■ 本の色で 紹介

| by 美山小

美山小学校には とってもたくさんの絵本があるのですが、本の表紙がわかるように並べるスペースがありません。
背表紙だけで 絵本を選ぶのは 思いのほか大変で
特に低学年などは なかなか 思うような絵本を手に取りにくい、ということになってしまいます。

そこで 限られたスペースではありますが 本の表紙が見えるように本を並べて紹介するコーナーも 作っています。
いままで 季節や行事などにあわせて 関連する本を並べて紹介していました。
ただ そうすると 毎年同じような本ばかりが 並んでしまうことになりがちです。

そこで 今回は 内容ではなく 本の色でまとめて紹介してみました。

「みどりの本」



「あかい本」



「きいろの本」



鮮やかな絵本の色で ちょっと楽しくなってきます。

いままで あまり目にする事のなかった絵本も並べることができました。
気軽に手に取って 読んでみてね。

「青い本はないの〜?」と さっそくリクエストがありました。
時期を変えて また 違う色の本を集めてみようと思います。

15:19 | 掲示物

■ 2022/05/16 ■ 「よむよむ」による朝の読み聞かせ

| by 美山小

1年生

「うまれてきてくれてありがとう」

作) にしもと ようこ 童心社

かみさまに『うまれていいよ』って言われて、ぼくはママに会いたくて、抱きしめてもらいたくて、ママを探しつづけます。

クマくんやぶたくん、ほかの動物たちがママにぎゅうとしてもらっているのを見とますます……。ママの方だってずっと会える日を待ち望んでいるのです。そして誕生の瞬間。「うまれてきてくれて、ありがとう。」



張り切って4月に入学してから1か月が過ぎました。
もしかしたら ちょっと自信をなくしている子もいたりするかなあ・・・と思って この絵本を選びました。
ころころがあたたかくなるお話です。
みんな大切な存在なんだってこと わかってきていると思います。

「いない いない にゃあ」

作) 沖 昌之 講談社



街中でネコたちが「いない いない ばあ」をしています。
だから「いない いない ばあ」になります。
ソトネコたちはとっても真剣。くすっと笑えて とってもかわいい写真がいっぱいです。
みんな にこにこ 喜んでいました。

2年生

「さるのひとりごと」

作) 松谷 みよこ 童心社

さるは いつも山ぼっかりみて つまらなかつたので 海をみようとかけて行きました。

「海は ええなあ

かぜは ぶうぶう ふくなり

なみは どんどん うつなり」

こんなひとりごとで ちいさいカニが 「うん」と返事をするのですが、なんと さるは そのカニを「うるさい」とつぶしてしまいます。

そのくせ ひとりごとに返事がなくなると さみしくなって・・・。



島根県に伝わる民話ですが なんだかとても 意味ありげで不思議なお話です。

高学年向けかと思いますが あまりに意味がありすぎる感じもして なかなか読みにくかったので 低学年なら どんな反応だろう、と 思って読みました。

うーん・・・どうだったかなあ・・・。

単純に 団子になってもどうして返事ができるのかが 不思議なようでした。

3年生

「ぼくがラーメンたべてるとき」

作) 長谷川 義史 教育画劇



ぼくがラーメンたべるとき、地球の裏側ではなにがおこってる？
ぼくがおやつを食べてるとき、世界の子はなにをしてる？
遊んでる、働いてる、倒れてる・・・長谷川義史が世界の子たちへ平和への願いをこめました。

楽しい日常の場面から 戦争の場面へとつながっていきます。
今 こうして 自分たちが日常をすごしているこの時でも まさに 戦争で命を落としたり 国を追われている人がいること
を 想像してほしいと思います。

「へいわって すてきだね」

作) 安里 有生 ブロンズ新社



昨日は沖縄返還50周年でした。
沖縄に住む小学1年生の子が へいわを願って書いた詩を 読みました。

4年生

「もりのほうせき ねんきん」

作) 新井 文彦 ポプラ社

粘菌は、アメーバと菌類の中間的な生き方をしている単細胞生物。
森のなかで見つけた宝石のような美しい粘菌の姿を見せながら、不思議な生物・粘菌のくらしを紹介します。



粘菌って 言葉では知っていましたが こんなにきれいなものだとは！
写真を見てもらうだけでも 十分に楽しめる科学絵本です。
粘菌って どんなものって なかなかイメージしにくいのですが、「スライムみたいな」というと「あー」と納得顔でした。

4年生は もうすぐ芦生の森に行くので 粘菌もみつけてきてほしいです。

5年生

「ミミズくんのにつき」

作) ドリーン・クロニン 朔北社



これは、みんなの知っているミミズくんのにつき。
驚くかもしれないけど、ミミズくんの毎日は、みんなとたいては変わらないんだよ。
違うことといったら、ときどき宿題を食べちゃうこと。
それに、顔とおしりがそっくりだってことくらい。
楽しくて、ユーモアいっぱい、思わず笑ってしまう、ミミズくんのにつきを少しお見せします。

かわいい絵にみんな引き付けられるように見てくれました。
ミミズは 歯医者に行かなくてもいいとか どんこのままでいい、お風呂に入らなくていい、というところが みんなにとっても受けていました。
面白おかしいお話でありながら 結構ミミズについての知識が得られる絵本です。

6年生

「ハリネズミと金貨」

作) ウラジーミル・オルロフ 偕成社

ハリネズミのおじいさんと動物たちの、思いやりあふれるロシアのお話。



この本はロシアの話だと言うこと、お金を持っていても物が売っていなければ何の役にも立たない事、困っている時は、手を差し伸べてくれる友人がそばにいてくれると何よりも心強いという事を知って欲しく、紹介しました。

ひとつひとつが寄り添って生きるこの意味 などについて書かれたあとがきも読みました。
お話はウクライナの作家さんで 絵はロシアを代表するのアニメーターのものです。
はやく 戦争 終わってほしいですね。

今日は 南丹ケーブルテレビと京都新聞の取材が入りました。
読み手も聞き手も 最初はちょっぴり緊張してたかな。
でも お話が始まると みんな 読み聞かせに集中していたようでした。



6月に放送予定です。楽しみに!

10:58 | 読み聞かせ

2022/05/12 ■ マイしおり作り (図書委員会)

| by 美山小

図書室では 5月の図書委員会の取り組みでマイしおり作りをしています。

初日の今日は 朝の会で図書委員会のみんなが各教室で宣伝した効果もあってか 中間休みとお昼休みは大盛況でした。



お気に入りの本の題名や イラストをかいたり 切り抜いた絵を貼ったりと 工夫して自分だけの世界にたった一つのマイしおりを作っていました。

出来上がったしおりは 図書委員会でパウチして リボンをつけて渡します。

図書室が狭いので 張り切って作りに来てくれたけど 場所がなく あきらめて帰った子もいました。ごめんなさい・・・。

5月いっぱい作れますので また 休み時間に来てくださいね。

14:27 | その他

2022/05/12 ■ 芦生の森の写真展

| by 美山小

4年生の行事 グリーンワールドが5月下旬に予定されています。

今年は 芦生の山の家泊まって 地元芦生の森をたっぷり体験します。

写真家で芦生の森のガイドでもある 広瀬慎也さんから パネル写真を10枚お貸しいただきました。

1階 校長室前



2階 理科室前



何年も、何十年も 一年を通して 芦生に通い続けているからこそ目にすることができる 自然の力強い美しさを 間近に見てもらえる よい機会となりました。

広瀬さんも 美山の子どもたちに 芦生の森のことをよく知ってほしい、自分たちの地元に こんな美しい自然が残っていることを誇りに思ってもらいたい、とおっしゃっています。

14:00 | 掲示物

2022/05/09 ■ 「よむよむ」による朝の読み聞かせ

| by 美山小

1年生

「へいわってすてきだね」

作) 安里 有生 ブロンズ新社

平和について考えるって 1年生にはまだ少し難しいのかな、という思いもありましたが この絵本は 沖縄の1年生が書いた詩なので 同じ1年生のみんなにも 何か ピンとくるものもあるのでは、と おもって 読みました。



最初に「へいわって どんなことだろう?」と 聞いてみると 「戦争をしないこと」という声が真っ先に聞こえてきて ちよっと びっくり、感動しました。

短い詩ですが、ひとフレーズずつ みんなとやり取りしながら読みました。

思っていた以上に いろいろ感じて 考えていることがわかり とっても嬉しくなりました。

2年生

「にゃーご」

作) 宮西 達也 すずき出版



主人公は3匹の子ネズミ。まだ小さい3匹は、天敵である猫の恐ろしさを知りません。先生の注意も聞かずに遊びに出掛けたその時、目の前に大きな猫が「にゃーご」と現れました。子ネズミの危機かと思いきや、恐れを知らない3匹は「おじさん、だあれ?」と、元気よく聞きました。この展開は猫にとっても予想外。思わず「だ、だ、だれって...たまだ」と答えてしまいます。

無邪気な子ネズミたちと優しい猫のユーモアあふれる、心温まるお話です。

まず最初に 普通サイズの絵本を見せて ちょっと見えにくいかもしれないから 大きな絵本を持ってきました!! と 大型絵本を取り出すと「おおー!」と 喜んでくれました。

3年生

「おむすびころりん はっけよい」

作) 森くま堂 偕成社

あるところに さんかくおむすびの くにと まんまるおむすびの くにが ありました。ふたつの くには いがみあっていたのです! いさかいはひろがり、とうとう、とのさまどうしの相撲で、決着をつけることになります。そして、手に汗にぎる一戦は、思わぬ結末に! 登場おむすびは、400こ以上。おむすび好きには、たまらない絵本です。



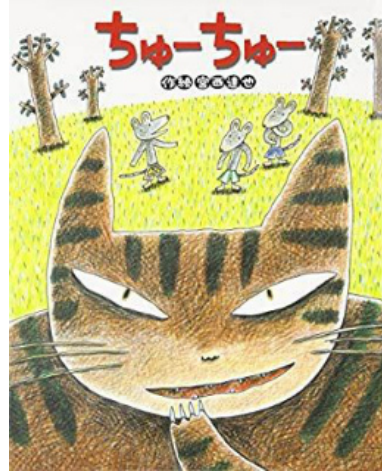
昨日から大相撲の夏場所がはじまりましたね。(大相撲を見ている人を聞いてみたら 1人だけ手が上がりました)

お話もおもしろいのですが、細かなところまで描かれた絵が また 楽しいのです。特に おむすびの具を育てている畑の様子には びっくりです! あとで 手に取って じっくり見てほしいと思います。

4年生

「ちゅーちゅー」

作) 宮西 達也 すずき出版



偶然ですが、2年生で読んだ「にゃーご」の続編です。

今度は どんな展開になるのか!?

ネコのキャラがわらっちゃうのですが、こちらも「にゃーご」同様 読んだ後 心があたたかくなるお話です。

「ちゅーちゅー」も大型絵本で読んだので 教室の後ろのほうの子でも 見やすかったと思います。

5年生

「おおにしせんせい」

作) 長谷川 義史 講談社

作者の長谷川義史さんの体験が元になった作品です。

5年生の新しい担任、おおにしせんせいの初日の授業は、なんと一日図画工作。

下敷きとバケツと一本の太い筆で、自由に、自分しか書けない絵を描こうと生徒たちに語りかけます。



すばらしい先生との出会いは 一生の宝物ですよ。

読み終わって 何かそういうことを言おうと思ったのですが、それは それぞれに感じてくれたらいいことかな、とも思い何も言わずに終わりました。

6年生

「もちもちの木」

作) 斎藤 隆介 岩崎書店



みんなもよくご存じの「もちもちの木」

自分も 久しぶりに読んでみると また すこし違う良さがわかる、というか 読む時々で感じ方も変わってくるものだな、と 改めて思いました。

6年生にとっては 3年生の時に国語の授業で習って よくよく知っているお話ですが 今 読み聞かせで聞いてみると また違う気持ちもわいてくるかもしれません。

そんなことも 初めに話してみたのですが、どうだったでしょうか？

大型絵本で読みました。

09:33 | 読み聞かせ

2022/04/25 | 「よむよむ」による朝の読み聞かせ

| by 美山小

1年生

「せんたくかあちゃん」

作) さとう わきこ 福音館書店



洗濯が大好きなかあちゃんは洗濯板で、家中のものすべてを洗ってしまいます。子どもたち、猫や犬、靴や傘まで、みんな洗濯して干されています。干された子どものへそを狙って雷さまが落ちてくると、かあちゃんは雷さままで洗濯！ゴシゴシ洗ったので、雷さまの顔からは、目も鼻も口もきれいさっぱり。でも大丈夫、かあちゃんに新しい顔を描いてもらい大満足で、空に帰っていきました。しかしその翌日、さらにびっくりすることが.....。

保育所でも よく読まれているようで みんなよく知っている絵本でした。みんなが洗濯して干されている場面では 「やっぱりー!」と 嬉しそう。見開きに広がる絵も 見ごたえがあるし 何度読んでも 楽しめる絵本です。

「きよだいな きよだいな」

作) 長谷川 摂子 福音館書店



「あったとさ あったとさ.....巨大なピアノがあったとさ」
巨大なピアノ、巨大な石けん、巨大な扇風機などで百人の子どもが思いきり遊びます。リズムカルな言葉と元気な絵の楽しい絵本です。

2年生

「ちいさいきみと おおきいぼく」

作) ナディーヌ・ブラン・コム ポプラ社



おおきいオオカミは、ずっとひとりでした。ひとりが、あたりまえでした。
ある日そこに、ちいさいオオカミがやってきたことから、おおきいオオカミは初めての気持ちをたくさん知り、世界は色づきはじめるのです……。
だれかとともに生きる喜びとぬくもりを伝える、フランス生まれの心あたたまる物語です。

すこし時間があつたので

「うまれたよ! ヒラメ」

作) 櫻井 季己 岩崎書店 を紹介しました。



ひらたい体で、ひらたい頭に二つの目が並んでいるヒラメ。
でも 赤ちゃんの時は、普通の魚の姿で 普通におよいでいるんだけど だんだん 目の位置が移動して 体の片側に並んでいくと 体も横に倒して泳ぐようになるんだよ・・・と かいつまんで説明すると「へえ〜!!」と 興味津々の様子でした。

3年生

「りゅうのめのなみだ」

作) 浜田 広介 偕成社



誰もが恐れ震え上がる竜を ちっとも怖がらない子供がいました。
ある日子どもは自分の誕生日に是非、竜を招待したいと言いだし、竜を探しに出かけます。
「僕は、ね、お前さんをいじめはしない。また誰か、いじめようとしたってかばってあげる」
山の奥深く、洞窟にやっと探し当てた竜は、思いがけないこの子の言葉に涙を流がします。
やがて その涙は川になり、竜は子供を背に乗せ、その川の流れに船のように浮かびました。

「泣いた赤鬼」と同じく ずいぶん昔なら だれもが知っているひろすけ童話の「りゅうのめのなみだ」ですが、今の子どもたちは誰も知らないようでした。

4年生

紙芝居「じごくけんぶつ」

作) 水谷 章三 童心社



みんなよく知っている「じごくのそうべえ」と よく似たお話です。

落語絵本「じごくのそうべえ」は、落語を基に作られてますが、こちらは、「閻魔の失敗」という笑い話を基に作られた紙芝居です。

「そうべえ」の田島さんの絵も迫力がありますが 「じごくけんぶつ」の藤田勝治さんの絵も ダイナミックで おもしろいですね。

5年生

「もりのなか」「また もりへ」

作) マリー・ホール・エッツ 福音館書店

図書コーナーの展示のテーマが 美山の森、ということで 2冊続けて読みました。



「もりのなか」は 名作絵本に定番として必ず登場する絵本です。

森へ散歩に出掛けた男の子が、ライオンや象、熊、カンガルー、猿などさまざまな動物と出会い、一緒に森を散歩するというほとんどそれだけのお話。

絵もモノクロですし 今の子どもにどれほど興味をもってもらえるかな、と ちょっと心配ではありました。

「また もりへ」は9年後に出版された 続編です。

再び森へ入った男の子を動物たちが待っています。

動物たちはみな自分の得意なことをやって、誰が一番いいかコンテストをしていたのですが 男の子が笑うと、動物たちはみな「一番いい!」と驚きます。

動物は笑うことができないから。

物語の最後で男の子は『もりのなか』と同様に、迎えに来たお父さんとうちへ帰っていきます。



続編があったほうが お話としてオチがある というか おさまりがよい気がします。

6年生

「森の木」

作) 川端 誠 BL出版



村人に豊かな恵みを与えてきた一本の木。
しかし、領主たちが森を荒らし、その木をさくで囲ったことから、何かが狂い始める……。
大自然の生命感を、紙粘土の半立体画で表現した力作。



図書コーナーのテーマにあわせました。

お話も少し長く 解説のような文章もつづくので 読み手も聞き手も どうしても なかだるみになりそうなのですが 今回は場面に合わせた音楽を 生演奏してもらって お話を盛り上げてもらいました。
村人たちが幸せに暮らしている様子から だんだん不穏な雰囲気になってくるあたりは 音楽の効果もあって みんなお話の世界に入っていてくれたようでした。
本当は 絵本の絵も 細かいところも見てもらえるように 電子黒板に映して読むつもりだったのですが、なぜかうまく映らず 絵本を見せながらと なってしまったのが 残念でした。

09:38 | 読み聞かせ

■ 2022/04/18 ■ 「よむよむ」による朝の読み聞かせ

| by 美山小

読書ボランティア「よむよむ」さんの 朝の読み聞かせが 今年度もスタートしました。
3学期は 読み聞かせがなかったので 読むほうも聞くほうも 久しぶりですね。

1年生

「よもぎだんご」

作) さとう わきこ 福音館書店

元気いっぱいのおばあちゃんが、野草の香りいっぱいのよもぎだんご作りを紹介する絵本。
よもぎの他にも野原には食べられる草がたくさん。
田舎ののどかな自然風景が野草摘みに駆り立てる、春の香りがつまった作品です。



ひかひかの一年生。

わくわくした表情で 迎えてくれました。

「よもぎだんご」の絵本を見せると 「知ってるー」とか 「保育所でよんでもらったー」という声もたくさんあったのですが、そんな中「何回きいても大丈夫!」とか「100回よんでもいいよ」という声も。

ちゃんと相手の気持ちがわかって 思いやりのある発言をしてくれる子がいるのだな、と びっくり うれしくなりました。

春らしい楽しいお話なのですが、よもぎだんごをつくる工程は 興味がなく ちょっとたいくつしてるかな、って感じの子もいたので 声色を変えたり 手振りしてみせたりしました。

今日は ポータブルマイクを使ってみましたが マスク越しでもきれいに聞こえて 読んでいても声を張り上げなくてよいので 楽によめました。

2年生

「うまれたよ! ダンゴムシ」

作) 皆越 ようせい

岩崎書店



小さいいきものたちの誕生や成長の様子を、大画面で展開する写真絵本シリーズ。

今日の1冊は ダンゴムシについて、卵の変化や、卵からかえる様子、その後の成長の様子をクローズアップ写真で詳しく紹介しています。



ダンゴムシの大きさの比較で「ゴマ粒」とか「米粒」が出てくるので 事前にゴマとお米をみんなに見せました。

「えーっ 貼ってきたん?」と こどもたちは驚いていましたが 興味を持ってくれたようで みんなしっかり 楽しんで聞いてくれて 反応もとっても良く 楽しく読めました。

みんな知ってるダンゴムシだけど 実は知らないことが多くて 大人でもびっくりの生態が載っていました。

3年生

「むらの英雄」

作) 渡辺 茂男 瑞雲舎



昔、アディ・ニハスという村の12人の男達が、粉をひいてもらうために、マイ・エデガという町へ行った。帰り道、一人が仲間を数えてみたら、なんと11人しかいない！いなくなった一人とは...。読み聞かせに楽しいエチオピアの昔話です。

自分を数え忘れることって 実際ありがちなのですよね。そんな 笑い話が 英雄話となっていくのが おかしいようでもあり その素直さに感動さえ覚えてしまいます。

みんな にやにやしながら聞いてくれました。

4年生

「わらのうし」

作) 内田 莉莎子 福音館書店

貧しい老夫婦がわらで作った牛で、熊と狼と狐を捕まえますが、逃がしてやったお礼にハチミツや羊や鶏を手に入れ、幸せに暮らすというウクライナで最も愛されている昔話です。



最近の世界情勢も気になるので ウクライナの絵本を選びました。日本では「てぶくる」が教科書にも載っており よく知られているので 別のお話、と 思って 「わらのうし」にしました。

「わら」って知ってる？と聞くと「パンを作る 麦のやつ」と 答えてくれたので ちょっとびっくり。てっきり お米の稲のほうを思い浮かべてくれるとおもったのですが、「稲わら」ではなく 「麦わら」でした。ウクライナのお話なので おそらく「麦わら」で大正解。

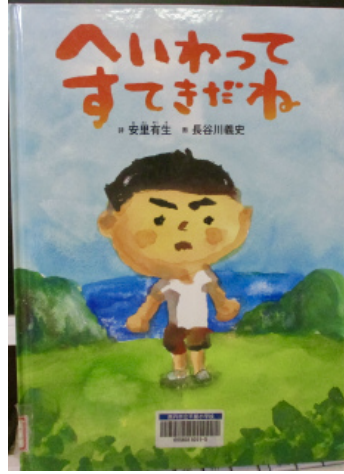
子どもたちは ウクライナが戦争下であること みんな知っていました。

5年生

「へいわってすてきだね」

作) 安里 有生 ブロンズ新社

今 ウクライナで起きているようなことが、過去には日本でもあったのだ ということを こどもたちは知っているでしょうか？ そんな話をして 読みました。



へいわってなにか。ぼくは、かんがえたよ。
ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎがのんびりあるいてる。
へいわっていいね。へいわってうれしいね。みんなのころから、へいわがうまれるんだね。
ああ、ぼくは、へいわなときにうまれてよかったよ。これからも、ずっとへいわがつづくように、ぼくも、ぼくのできるこ
とからがんばるよ。

小学校一年生の沖縄の端っこの島の男の子が書いたという詩に長谷川さんが絵を添えました。
子どもらしいのだけど、平和っていうものについての確に言い表し、その尊さをしみじみと感ずることが出来ます。

6年生

「私はどこで生きていけばいいの?」

作) ローズマリー・マカーニー 西村書店

今年度の読み聞かせのしよっぱなの 月曜日の朝から どうかなあ・・・と 思ったのですが、まさに 今 起きているこ
とについて 考えてほしい、と選んで選びました。



シリーズ《世界に生きる子どもたち》第二弾です。
世界には、危険がせまり、家を離れざるをえなくなった人たちがいます。
戦争や紛争のために、多くの子どもたちとその家族が難民になりました。
彼らの人生は過酷で不安に満ちています。
それでも、ときには笑い、遊び、友だちをつくり.....
どこかで、誰かが、自分たちを新しい家へと温かく迎えてくれるだろうという希望を胸に、生きています。
新たな家をさがしもとめ、前を向いて生きている子どもたちと家族の姿をとらえている写真絵本です。

こうした難民の状況を知り、問題を考えるきっかけとなつてほしいと思います。

09:32 | 読み聞かせ

◀ 前 1 2 3 4 5 6 7 次 ▶ カテゴリ選択 10件 ▼